



市議会うんなん

No.24
2011.1.20



良い年を願って

大東町須我神社

平成22年 12月定例会

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ● 議長 年頭のご挨拶 …………… 2 | ● 委員会報告 …………… 7～9 |
| ● 議会構成表 …………… 3 | ● 議会報告会 …………… 10 |
| ● 定例会報告 …………… 4 | ● 一般質問 …………… 11～15 |
| ● 補正予算、議員発議 …………… 5 | ● お知らせ …………… 16 |
| ● 主な議案と結果 …………… 6 | ● 編集後記 …………… 16 |



年頭のごあいさつ

雲南市議会議長 藤原政文

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様には希望に満ちた新年を
お迎えのことと雲南市議会を代表し
てお慶び申し上げます。

さて、昨年は「龍馬伝」や「ゲゲ
ゲの女房」の主人公が幾多の困難に
対して、強い信念をもって自らが信
じる道を切り開く姿が、現代の不透
明な時代を生きる多くの人々の共感
を呼び好評を博しました。

また、所在不明の高齢者問題の発
覚、特捜検事による証拠改ざん事件
など、「正義」と「良心」を問われた
一年でもありました。

現在国では、地域のことは地域に
住む住民が責任を持って決める活気
に満ちた地域社会をつくることで
きる「地域主権改革」が進められて
います。雲南市議会におきましても、

地方分権、地域主権により「自己決
定、自己責任」が求められ、議会の
役割がより重要になってきています。

議員一同、市民の皆様の負託に応
えるべく市政のチェック機能を果た
し、審議過程や議会の状況の報告や
住民の皆様の生の声をお聞きする
「議会報告会」を引き続き定期的に関
催いたします。いただいた声を市政
に届けるとともに説明責任を果たし、
さらに議員間での討議を深め政策に
反映させるよう努めていく所存です。
本年も、市民の皆様のご期待に応
えられるよう一生懸命努力してまい
りますので、一層のご支援、ご協力
を賜りますようお願い申し上げます。
皆様のご多幸ご健勝をお祈り申し
上げ、年頭のご挨拶といたします。

平成22年 12月定例会

正副議長を選出 新しい議会構成決定

平成22年12月定例会は、11月29日
から12月22日の会期で開催しました。

12月定例会
は、任期の2
年目を終えて
議会の構成替
えからスター
トしました。
最初に正副
議長の選挙を
行い、議長に
藤原政文議員、
副議長に小林
眞二議員を選
出しました。
その後、常任
委員会・議会
運営委員会所
属を決定しま
した。また特
別委員会、一
部事務組合等
議員の選出を
行い、議会の
陣容が整いま
した。



投票による議長選挙

新しい議会構成

議長

藤原 政文

副議長

小林 眞二

議会運営委員会

◎周 藤 強

○細 田 実

藤 原 信 宏

山 崎 正 幸

堀 江 眞

光 谷 由 紀 子

吉 井 傳

常任委員会

総務常任委員会

◎藤 原 信 宏

○周 藤 正 志

山 崎 英 志

(平成22年12月31日辞職)

特別委員会

ダム対策特別委員会

◎土 江 良 治

○村 尾 晴 子

佐 藤 隆 司

周 藤 正 志

高 橋 雅 彦

加 藤 欽 也

予算審査特別委員会

◎吉 井 傳

○高 橋 雅 彦

(議長を除く全議員)

議会広報編集委員会

◎西 村 雄 一 郎

○高 橋 雅 彦

佐 藤 隆 司

周 藤 正 志

土 江 良 治

村 尾 晴 子

周 藤 強

◎…委員長
○…副委員長

雲南市・飯南町事務組合議会議員

藤 原 政 文

細 田 実

堀 江 眞

吉 井 傳

公立雲南総合病院組合議会議員

藤 原 政 文

西 村 雄 一 郎

石 川 幸 男

雲南消防組合議会議員

藤 原 政 文

西 村 雄 一 郎

石 川 幸 男

雲南環境衛生組合議会議員

藤 原 政 文

加 藤 欽 也

石 川 幸 男

雲南広域連合議会議員

藤 原 政 文

安 井 譽

深 田 徳 夫

(敬称略)

監査委員

(議会選出)

堀 江 治 之

教育委員会委員

太 田 多 美 子

固定資産評価

審査委員会委員

安 部 博

須 山 紀 和

小 村 芳 治



12月定例会で
同意した人事案件

12月定例会報告

12月定例会には、承認事項2件、条例案16件、規約案1件、補正予算案10件、一般事件14件、同意事項5件、諮問事項2件が上程されました。議案はいずれも原案のとおり可決しました。

一般質問

12月6日から8日まで15名が一般質問を行いました。

市民の皆様から一般質問の重複が指摘されていますが、議会改革の一環として2つの会派が誕生し、質問内容について調整が試みられ、少しは改善されたと思います。市民の皆様のご意見をいただきたいと思えます。

○医療と保健の融合による健康づくり拠点整備

財政面、必要性、後期総合計画との関連性等について質問がありました。

○高速道路「尾道松江線」の開通や高速道路無料化問題

定住人口問題や観光、経済

的影響など幅広く質問がありました。

○農業問題

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）や鳥獣被害対策について質問がありました。その他、尾原ダムに係る観光対策、財政では平成23年度予算編成に係る基本事項に関する事等、市民生活に直接影響のある課題について活発な議論がありました。

主な条例

○公立雲南総合病院の市立化に関する条例改正 7件

（内容）今年4月からスタートする市立病院のための関連条例の改正です。

○雲南市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例

（内容）犯罪のない安全・安心なまちづくりのための基本理念、市の責務などを定めた新たな条例です。

○給与等に関する条例の一部改正 3件

（内容）特別職、一般職の給

与等を人事院勧告等に基づき引下げるものです。

主な一般事件

○消防組合と環境衛生組合を雲南広域連合が承継するための手続き 6件

（内容）両組合とも解散し、事務や財産を広域連合が承継します。

○過疎地域自立促進計画

（内容）過疎地域自立促進特別措置法に基づき平成22年度から27年度までの雲南市の自立促進計画を国に提出します。この計画を提出しなければ過疎債など有利な財政支援を受けられません。

主な補正予算

一般会計は補正予算10億2,780万円を加え283億6,220万円の規模になりました。特に国からの「緊急総合経済対策」を活用し、地域経済の活性化に重点がおかれています。また、人事院勧告による給与等の削減額は2,200万円となっ

ています。

交流センター整備や公共施設解体など6,750万円、市民バスの更新に2,400万円、老人福祉施設修繕に3,840万円、市道補修に9,550万円、市道整備に5,000万円、小学校耐震化に1億5,060万円、大東小学校旧校舎の解体に5,500万円、三刀屋中学校旧校舎の解体に9,000万円、菅谷たたら山内保存修理に1,400万円などが計上され可決しました。



保存修理が進められる菅谷たたら山内

12月定例会補正予算の主なもの

一般会計補正予算

(単位：万円)

内 容	金 額	審 査 分 科 会
知事、県議会議員選挙	2,209	総 務 分 科 会
電算の基幹系システムの再構築 (事業委託)等	1,720	
市内保育所受入児童数増に伴う臨時職員 賃金等	3,152	教育民生 分 科 会
インフルエンザワクチン接種費用助成	982	
平成23年度小学校教科書改訂に伴う 教師用の教科書・指導書等準備費用	3,530	
小・中学校特別支援学級改造及び教材 備品等の費用	1,485	
有害鳥獣捕獲奨励金及びクマ捕獲用檻購 入費	1,145	産業建設 分 科 会
大東町川井地区の中核作業道整備事業	5,000	
企業立地助成金(10件分)	2,997	

特別会計・公営企業会計

(単位：万円)

内 容	金 額
国民健康保険事業(事業勘定)	△37
国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	△53
後期高齢者医療事業	△1,603
簡易水道事業	153
生活排水処理事業	68
土地区画整理事業	700
水道事業会計	695
ダム対策事業	8,877

一般会計補正予算(追加提案分)…緊急総合経済対策

(単位：万円)

内 容	金 額	審 査 分 科 会
財産台帳システム整備費(H23年度分前倒し)	1,100	総 務 分 科 会
交流センター等修繕費	2,000	
情報系パソコン更新費(100台分)	1,300	
雲南市飯南町事務組合負担金 (デジタルデータ放送整備分)	2,300	
市民バス購入費(3台分)	2,400	
固定資産評価システム整備及び航空写真 撮影(H23年度分前倒し)	2,000	
旧掛合保育所、掛合プール等解体費	3,800	教育民生 分 科 会
老人福祉施設改修及び空調更新費	3,840	
保育所施設修繕及び保育所駐車場取得費	1,030	
掛合小学校グラウンド整備費	2,800	
海潮小学校舎、西小屋内運動場の耐震化等 工事費	15,060	
大東小、三刀屋中学校校舎解体費	14,500	
木次中学校校舎耐震化等工事費	1,650	
海潮幼稚園歩道橋整備費	750	
菅谷たたら山内保存修理に係る調査設計費	1,400	
大東向島集会所トイレ修繕費	550	
大東町飼料米用ライスセンター設備改修 補助費	762	産業建設 分 科 会
明石緑が丘公園施設、深谷温泉看板及び グリーンシャワーの森修繕費	500	
市道修繕費	9,550	
市道竜宮線関連整備費	5,000	
加茂球場ベンチ等修繕費	800	

議員発議

議員の期末手当を減額します

地域経済の状況を鑑み、議員報酬の6月に支給する期末手当1・5カ月を1・4カ月に0・1月減ずるよう議員自らの提案で条例を改正した。

国の拙速なTPP交渉参加に反対する
意見書を提出

TPPは、原則全ての品目の関税を撤廃し、例外なく自由化させる協定である。農林水産省が試算しているように、我が国の食料自給率は40%から14%に急落し、米の生産量は90%減、砂糖・小麦はほぼ壊滅する状況を招き、関連産業を含む地域経済が大打撃を被ることは必至である。特に、中山間地は農林業を基軸に地域経済と社会がなりたっており、TPPへの参加は地域社会を崩壊させることにながりがかねないことから、我が国の安定かつ継続的な営農をすすめ、食料自給率を確保・向上するために、TPP交渉に参加しないように要請する。

提出先

衆議院議長 農林水産大臣
参議院議長 経済産業大臣
内閣総理大臣 内閣官房長官
外務大臣 国家戦略担当大臣

12月定例会に提出された主な議案と結果

【条例・規約】	採決結果	採決状況
入間ふるさと活性化センター（掛合町）を入間交流センターに変更するための条例改正（2件）	可決	全会一致
過疎地域自立促進基金条例の制定	可決	全会一致
犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定	可決	全会一致
雲南市病院事業の設置に伴う関係条例の一部改正	可決	全会一致
雲南市病院事業の設置等に伴う事業内容、名称、設置場所などを定めるための条例整備	可決	全会一致
雲南市病院事業管理者の給与に関する条例の制定	可決	全会一致
雲南市立病院職員の給与の種類や基準に関する条例制定	可決	全会一致
雲南市立病院一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	可決	全会一致
雲南市立病院の使用料（診察等に係る費用）及び手数料についての条例整備	可決	全会一致
雲南市立病院看護師等奨学資金の償還債務の免除に関する条例制定	可決	全会一致
鍛冶屋原頭首工施設管理に関する条例制定	可決	全会一致
塩田小（大東町）、民谷分校（吉田町）の閉校に関する条例改正	可決	全会一致
市長・副市長の期末手当カットにかかる条例改正	可決	全会一致
教育長の期末手当カットにかかる条例改正	可決	全会一致
市職員の期末手当カットにかかる条例改正	可決	全会一致
消防組合、一部事務組合との統合に伴う雲南広域連合規約の一部変更	可決	全会一致

【承認・報告・同意・一般事案・諮問事項】	採決結果	採決状況
雲南消防組合の解散	可決	全会一致
雲南消防組合の解散に伴う財産処分	可決	全会一致
雲南消防組合の解散に伴う事務の承継	可決	全会一致

雲南環境衛生組合の解散	可決	全会一致
雲南環境衛生組合の解散に伴う財産処分	可決	全会一致
雲南環境衛生組合の解散に伴う事務の承継	可決	全会一致
三刀屋中学校校舎改築工事の工期変更による変更請負契約	可決	全会一致
元雲南市ガマ工房（吉田町）の無償譲渡について	可決	全会一致
過疎地域自立促進計画の策定	可決	全会一致
吉田町地内の一部市有林を飯石森林組合へ森林経営信託すること	可決	全会一致
そら山住宅団地（木次町）の造成に伴う字区域の変更	可決	全会一致
経営体育成基盤整備事業による加茂町地内の一部字区域の変更	可決	全会一致
坂山団地線（三刀屋町）の市道認定	可決	全会一致
道の駅さくらの里きすきの指定管理	可決	全会一致
固定資産評価審査委員会の選任同意（3件）	同意	全会一致
教育委員の任命について同意	同意	賛成多数
監査委員の選任に関する同意	同意	全会一致
人権擁護委員候補者の推薦についての意見（2件）	適任	全会一致

【平成22年度予算関連】	採決結果	採決状況
一般会計補正予算専決処分の承認	承認	全会一致
ダム対策事業特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	全会一致
一般会計補正予算	可決	全会一致
国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計補正予算	可決	全会一致
簡易水道事業特別会計補正予算	可決	全会一致
生活排水処理事業特別会計補正予算	可決	全会一致
土地区画整理事業特別会計補正予算	可決	全会一致
ダム対策事業特別会計補正予算	可決	全会一致
水道事業会計補正予算	可決	全会一致
工業用水道事業会計補正予算	可決	全会一致
一般会計補正予算（追加）	可決	全会一致

請願・陳情 審査結果

12月定例会に、請願1件、陳情4件が提出されました。

審議の結果は次のとおりです。

「採択」

● 建具組合に関わる事業の発注についての請願書
島根県建具組合
雲南支部

支部長 渡部 満善
他15名

「継続審査」

● 木次有線放送事業廃止に係る撤去工事費用の負担に関する陳情書
雲南農業協同組合
代表理事組合長 吾郷 生善

● 「交通基本法」制定に関する陳情書

西日本旅客鉄道労働組合米子地方本部執行委員長 佐貫 馨

● 住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情
島根県国家公務員労働組合共闘会議
議長 広江 民江

● 医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める陳情書
島根県保険医協会
会長 古沢 正治



請願書の提出



委員長 周藤 強

議会運営委員会は、この度の構成替えにおいて、各常任委員会から委員長を含む2名ずつの6名に、新たに予算審査特別委員長を加え7名でスタートしました。

当委員会の権限は、

- ① 議会運営に関する事項
 - ② 議会の会議規則や委員会条例等に関する事項
 - ③ 議長の諮問に関する事項
- など、その守備範囲は広範囲にわたります。

最近、マスコミで取り上げられている名古屋市長と同議会や鹿児島県阿久根市長と同議会の異常な事態は、地方自治体の首長と議会の力関係を如実に表しています。

執行部と議会の二元代表制のもとで、市民のみなさんの付託に応えるべく、議会の権能の強化が求められています。昨年、京都府の京丹後市議



京丹後市議会議長を迎えて

会議長を迎え、議員全員で勉強会を開催しました。京丹後市議会は議会改革度全国ナンバーワンと称されているほどに、大いに参考になりました。雲南市議会では、「市民に開かれた、わかりやすい議会」をめざして議会報告会の開催や委員会のテレビ放映など、議会改革を積極的に進めています。



委員長 藤原 信宏

〈審議の総括〉

付託案件9議案と予算審査特別委員会委託議案（所管委員会分）について、審議を行いました。

総括審議では「大型プロジェクトの計画的推進」や「消防団員の確保対策」について質しました。

〈条例その他〉

「犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定について」等の条例制定・改正4件、雲南広域連合規約の一部変更、「財産の無償譲渡」等の一般事件案4件、計9議案について慎重に審議しました。

審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

〈予算関係〉

平成22年度一般会計補正予算（第5号）、同（第6号）等、所管分科会分6議案について慎重に審議しました。



消防団出初めの一斉放水

特に第6号は、国の経済対策補正予算に係る追加経済対策予算ですが、事業選択方針や事業計画の熟度に質疑が集中しました。緊急な予算編成とは言え、事業の実施時期や繰越明許費等予算措置計画が定まっておらず、早期に詳細計画を決定し、事業実施を急ぐよう求めました。

全て可決すべきものと決しました。



委員長 光谷 由紀子

〈審議の総括〉

総括審議では、公立雲南総合病院市立化後の行政の関わり方、雲南圏域の連携、民生児童委員の負担軽減と処遇改善、特別支援学級の充実と特別支援学校の開設の質疑を行いました。

〈条例関係〉

公立雲南総合病院の市立化に伴う条例制定、小学校統廃合の設置条例の改正について慎重審議しました。

特に雲南市立病院の副管理者の必要性と職務について質疑し、「病院側から設置を望む意向がある。任期については検討する」との答弁があり可決すべきものと決しました。

〈予算関係〉

インフルエンザ予防接種助成費980万円、小学校教師用指導書等3,530万円、掛合小グラウンド整備費2,



4月スタート予定の市立病院

800万円、大東小、三刀屋中の校舎解体費1億4,500万円、西小、海潮小、木次中の耐震化1億6,700万円、菅谷たたら山内保存修理の調査設計費等1,400万円などの補正予算を可決すべきものと決しました。

〈その他〉

三刀屋中学校舎改築工事請負契約変更について可決すべきものと決しました。



委員長 山崎 正幸

〈審議の総括〉

総括審議では、森林整備、付加価値農業を目指す政策提案、畜産振興について行い、付託を受けた4議案と委託を受けた7議案の審議、その後、「TPP（環太平洋パートナーシップ協定）交渉参加に反対する意見書」の提出を全会一致で決しました。

〈条例関係〉

雲南市鍛冶屋原頭首工施設の管理に関する条例の制定については、県から市へ譲渡されるのに伴い制定するもので可決すべきものと決しました。

〈予算関係〉

一般会計補正予算は、国からの交付金である「きめ細かな交付金」が確定したこと等により、約1億8,000万円が増額されました。主なものは道路補修整備1億4,500万円、中核作業道5,



進められる間伐作業

00万円等が提案され、可決すべきものと決しました。

〈その他の事項〉

市有林の信託、市道の路線認定、公の施設の指定管理者の指定については、可決すべきものと決しました。

「建具組合に関わる事業の発注について」の請願は賛成多数で採択すべきものと決しました。



委員長 土江良治

総事業費1,510億円が投じられた尾原ダム工事は、いよいよ今年度末で完成します。昭和60年の治水基本計画同意から実に26年目です。

今期委員会は前期委員会の次の意見集約を土台に引継ぎ、協議を進めることとなります。

①国・県に対し周辺整備、活性化策等に積極的に要請活動を行うこと。

②地域活性化のために、地域住民による自立した継続的な地域づくりの活動が出来るよう施策を講ずること。

③交流人口の増加策として上・中・下流の交流促進を図ること及びダム周辺を市の重要な観光戦略として位置付け、関係部局が一体となって取り組むこと。

12月18日には、完成近い尾原ダム管理庁舎、ダム堤内の現場視察を行い意見を交わし



試験湛水の状況 (平成23年1月11日現在)

ました。

12月20日には委員会を開催し、次の3点について説明を受けました。

- ①ダム湖周辺整備事業
 - ②志津見ダム完成式
 - ③試験湛水の状況
- また前記の意見集約の実行を確認しました。



委員長 吉井 傳

本委員会では付託を受けた予算案10件を各分科会に委託し審査報告を受け慎重に審議を行いました。

- 審議内容(一般会計補正)
- ・三刀屋中解体、木次中耐震工事他 …… 1億650万円
 - ・市道修繕全域分 …… 1億4,500万円
 - ・旧掛合保育園プール解体工事他 …… 7,850万円
 - ・大東川井地区森林整備事業他 …… 5,000万円
 - ・福祉施設修繕 (おおき、えがの里他) …… 3,840万円
 - ・小学校指導書整備 …… 3,530万円
 - ・企業立地助成10件 …… 2,997万円
 - ・市民バス購入3台 …… 2,400万円

総額10億2,630万円の補正でした。

主な意見として、今回の補正は追加経済対策だとしても、事業選択や実施計画、繰越明許等が定まっておらず、しっかりとした事業予算計画を立てて事業執行すべきと求めました。また、斐伊保育所の地盤改良でコンクリートからウレタン樹脂注入工法への訂正があったとの報告もありました。

結審 補正予算案10件全て全会一致で可決すべしものと決しました。



市民バス

議会報告会

これまで市内30会場で実施

議会の運営や課題の取り組みなどの説明責任を果たすとともに、意見や要望等を聴き、住民と意思の疎通を図ることを目的に、平成21年9月議会の報告会を始めてから、これまでに5回、30会場で開催してきました。(表1、2参照)

議長・副議長・各常任委員長などをトップに、それぞれ所属委員会委員を6班に分け会期ごとに旧町村を巡回するものです。

第5回目(22・10・19～10・25)の報告会でいただいた意見の一部を紹介します。

- 〇〇地区からの陳情・要望に不採択が多い。説明責任があるのではないか。
- 議会は住民から肌離れしている。議会の役割は何かを住民に分かるように説明する必要がある。
- トップダウンが多い。住民意見を聞く機会があったか疑問。住民意見が議会に反映されるようにして欲しい。
- 職員数が減っても人件費が増えている。議会で議論されたい。
- 政務調査費の年額、精算方法、公開は。
- 保健と医療の融合施設については、将来的に利用者が確保でき
- 米価が元に戻ることはないと思をしつかり行われたい。
- 借金の利払いは年間どのくらいか。その金があれば地域要望は簡単にかなえられる、借金があるのに積立を増やすのは疑問だ。
- 議会のテレビ放送を全て見る時間がない。ダイジェスト版を放映して欲しい。
- 鳥獣被害の拡大で生産意欲が低下している。狩猟免許の取得・更新への支援制度等を検討すべきだ。
- 議員定数や報酬の見直しの状況は。

延べ644人の市民が参加 意見・要望など378件に

延べ644人の参加のもと378件もの意見・要望が出されました。議会活性化の一環として、市民の皆さんと議員が共に議論し、市政について考える貴重な機会と

なってきました。

いただいた意見・要望等は、内容を整理し、市への要望事項は市へ、議会要望事項は議会内で検討していきます。

会場で回答を保留した質問は、後日該当地区の責任者に回答するようにしています。

1. これまでの議会報告会参加者の状況

(単位：人)

会場	参加人数()内女性数					合計
	①H21.11/2 ～11/12	②H22.2/15 ～2/23	③H22.5/10 ～5/14	④H22.8/17 ～8/24	⑤H22.10/19 ～10/25	
大東	10 (1)	7 (1)	21 (21)	25 (2)	18 (5)	81 (30)
加茂	19 (5)	17 (1)	21 (1)	22 (3)	10 (1)	89 (30)
木次	32 (3)	37 (4)	30 (1)	28 (3)	14 (0)	141 (11)
三刀屋	16 (3)	18 (5)	19 (4)	14 (1)	23 (2)	90 (15)
吉田	22 (2)	16 (2)	29 (9)	18 (1)	15 (0)	100 (14)
掛合	21 (1)	38 (6)	32 (8)	16 (2)	36 (8)	143 (25)
計	120 (15)	133 (19)	152 (44)	123 (12)	116 (16)	644 (106)

2. 質問・意見の担当委員会別区分の状況

	担当委員会									
	議会運営委員会		総務委員会		教育民生委員会		産業建設委員会		その他	
	項目数	件数	項目数	件数	項目数	件数	項目数	件数	項目数	件数
第1回	6	13	18	24	9	9	20	25	9	9
第2回	3	3	26	31	16	20	19	20	2	2
第3回	10	14	22	24	14	14	8	8	6	7
第4回	3	7	10	26	8	21	6	13	3	6
第5回	6	13	18	24	9	9	20	25	9	9

11月17日

一般質問

一般質問のページは質問者本人の原稿をもとに広報委員会にて編集しました。また質問項目すべてを載せているものではありません。



吉井 傳

TPPで崩壊する農業をどうする

問 TPP（環太平洋経済連携協定）は農業と中山間地域が壊滅するが、その対応と影響はどうか。

市長 市の農業と地域社会の崩壊につながる。関係団体と連携をとり反対表明をし、国へ声を上げていく。
産業振興部長 市では、米の9割が外国産に替り約21億3,000万円、牛肉は7・5割の7億6,

500万円の減少が予測される。

問 有害鳥獣駆除助成金は年度内捕獲全て対象となるか。また、熊対策はどうか。

産業振興部長 駆除報奨金は2,519万円です。熊の対応は檻11基設置し4頭処分した。23年度は檻の増設と電牧等の設置助成も含め今後検討する。



藤原 信宏

小中学校における猛暑対策は

問 今夏の日本列島は記録的な猛暑に襲われた。市内でも子供たちの置かれた環境、特に小中学校内での猛暑対策が問題視され、悲鳴にも近い訴えもあった。小中学校の普通教室190室にエアコンを設置できないか。

教育部長 熱中症は屋外での活動や部活時に発生しており、

問 定住策としてU・イーターナー者の住宅取得助成が有効では。
政策企画部長 空家改修、リフォーム助成等に対応したい。

エアコンを必要とする期間も限られるので、現時点での設置の考えはない。

問 職員室や校長室、保健室・図書室についてはどうか。

教育部長 保健室は全校設置済みだ。職員室・校長室は来年度に全てを、図書室等は順次設置する。

問 良いことづくしの芝生化には、今異論も出ている。教育予算に限りもある。数箇所実施後は、多方面からの検証をしつつ慎重に進めるべきだ。

教育部長 十分に検証しながら進めたい。



西村 雄一郎

音声告知放送の

屋号・商号の放送は

問 人権の視点に立ち、屋号の放送を自粛していることは承知しているが、放送の要望は、市民の多くから寄せられている。合併前の放送状況はどうだったか。

政策企画部長 加茂、大東、三刀屋各町で屋号が放送されていた。

れていた。

問 雲南市の86%で、商号の放送があった。現状はどうか。

政策企画部長 木次町で商号を放送しており他町はない。

問 各町の歴史があり、今は木次町でのみ商号を放送している。「地区別に放送の基準を定める」「葬家の希望による」等検討すべきだ。

政策企画部長 各町の自治会会長会、自主組織の意見を伺い、検討する。

政策企画部長 加茂、大東、三刀屋に加え、木次町で放送さ



山崎 英志

指定管理者への 指導が行える人材養成を

問 指定管理を行っている温浴施設など、集客を伴う公共施設で、その利用者の増減にかなりのばらつきが見られるが、どのように考えているのか。

産業振興部長 温浴施設よりも宿泊施設においてばらつきが大きい傾向にある。現下の経済状況も相当程度影響していると考ええる。

問 指定管理者同士の経営方法、営業方法などの情報交換の場が必要では。

産業振興部長 同じ

ような施設の指定管理者の情報交換の場は、大変重要な勉強する機会であると考えるので是非とも実施したい。

問 経営方法、営業方法等を指定管理者に任せっきりでなく、支援・指導が行える職員を養成することが必要だ。

産業振興部長 専門的な支援・指導が可能な人材の養成については、検討しなければと考える。



工事が進む尾道松江線(広島県)

市長 事業費、ランニングコストの抑制に努め、市からの繰出について確保しなければならぬと考えている。



堀江 治之

新庁舎建設の 可否決定の時期は

問 新庁舎建設の可否決定の時期は。

総務部長 年度内に可否について方向を出すこととしており、2月下旬に中期財政計画、実施計画にて示す予定である。

問 水道施設整備に伴う水道使用料金高騰抑制対策は。

市長 事業費、

る。

問 市管理施設での禁煙対策方針は。

健康福祉部長 23年4月から庁舎内を全面禁煙とし、他の施設では敷地内禁煙とするか建物の外へ分煙室を設ける考えである。

問 高速道路の供用開始に向けての観光対策は。

産業振興部長 島根県と54号線沿線市町で観光振興協議会を設置し、具体的に平成23年度より観光対策に取り組む考えである。



周藤 正志

観光・交流人口拡大の 戦略が必要

問 尾原ダム完成、高速の開通、トロッコ列車更新、古事記1、300年などの状況に対して、対応が遅く、そもそも観光・交流人口拡大のための総合的戦略自体がないではないか。

副市長 これまで培ってきた健康づくりのソフトを生かし、将来を見通したまちづくりも必要だ。

政策企画部長 県の神話のふるさと島根推進事業に沿った基本的な戦略を早急に策定する。

問 医療と保健の融合による健康づくり拠点整備については、そもそも市民は望んでいない。なくてはならない施設と

理解できないのでは。

副市長 これまで培ってきた健康づくりのソフトを生かし、将来を見通したまちづくりも必要だ。

問 健康づくり、健康増進施策は一部の人や地域が対象ではないけない。基本的な考えはどうか。

市長 この施設を拠点にし、既存施設とネットワークを図り全市的に波及させる考えだ。



佐藤隆司

ダム湖と堀川遊覧船の縁結び観光を

問い 斐伊川（水）

が取り持つ縁結び観光戦略として、松江堀川遊覧船をさくらおろち湖に浮かべ、上下流交流をしてはどうか。

政策企画部長 今後

のダム湖の湖面を利用した観光も含めて検討したい。

問い 観光振興の4番バッテリーをさくらおろち湖に改める考えはないか。

産業振興部長 4番バッテリーがどこかではなく雲南市として、トータル的な施策を取り組むことが

必要である。

問い 水木ロードの観光客350万人は創られた観光地。決定的な観光地が無い雲南市であり観光地を創ることが必要では。

市長 さくらおろち湖の完成は圧倒的な存在感を持つ施設であり、これを生かさずしてどうするのかとの思いは同感であり、智恵と工夫を凝らし、雲南地域の大いなる観光資源として活かしていくよう頑張りたい。



高橋雅彦

TPPに対する市の考えは

問い TPPは、農

業ばかりでなく地域経済にも大打撃を受ける。農地法の改正と戸別所得補償で日本農業を守ると国は考えているが、市の現時点での考えは。

産業振興部長 国が

考えているほど簡単な問題ではない。鳥獣被害や限界集落などTPP以前の問題が山積している。安心・安全をキーワードに付加価値を付ける取り組みが中山間地域の重要課題だ。国には中山間地域の実情を訴えていきたい。

問い TPPに対する市長の考えは。

市長 対策がなければ農地が壊滅すると確信している。爆発

的人口増加、農地の減少が進んでいる中で、世界は食糧不足時代である。国において農地荒廃対策と生産・消費拡大対策も検討されなければならない。



ガンバレ産直市場



加藤欽也

高速道路無料化実験の影響は

問い 無料化実験が

市内商工業者に与える影響調査を行ったか。またその結果は。

産業振興部長 影響

調査は行っていないが聞き取りは行った。市外の利用客が多い施設では一割強の売上の減少のようだ。

問い 無料化実験についての所見を伺う。

市長 維持管理費は

問い 松江・尾道線

が2年後に開通するが、市としての根本的な考えは。

市長 雲南地域全体

の地域資源「食の幸、自然の幸、歴史の幸、人の幸」をもっと生かすことが高速道路時代への対応、観光戦略そのものだと思う。

問い 市内観光地の美化はどうか。

産業振興部長 全ての部局において、管理する施設の美化、景観に細心の注意を払いながら管理の徹底を図っていく。



板持達夫

ダム工事は終わるが ダム対策は終わらない

問 尾原ダム本体工事は完成するが、ダム対策は継続する。昭和32年にダム構想が示されてから半世紀の間、地元温泉地区住民にとって長い闘争の歴史であった。今後、尾原ダム周辺整備をどのように進めるか。ダム対策課を存続させる考えは。

活道路として扱い、延長が短くても防災に対応できない箇所は早急に整備すべきだ。

建設部長 緊急車輛も入らない道路について対応していく必要があると考える。

問 名誉市民条例が制定されているが功績のある方に称号を贈る考えは無いか。

市長 合併後、名誉市民の称号を贈っていない。名誉市民条例に基づいて今後考えたい。

問 市道整備は生



光谷 由紀子

拠点づくり 市民は合意していない

問 総事業費7億円、運営費6〜7千万円の「医療と保健の融合拠点づくり」は誰が要求しているのか。

ことが大切だ。ケアポート吉田は冬期燃料費不足でプールが閉鎖かどうか。

市長 拠点をつくり、既存施設はサテライトとして活用したい。

副市長 財政計画に7億円で設定している。介護・医療費が増加傾向のため、子どもから高齢者までの健康づくりの拠点として整備する。

問 議会全体が合意する状況でなく市民も納得していない。病院、学校の施設整備を優先すべきだ。

問 1日150人では全体の健康づくりにはならない。東御市でも医療費削減の効果は無い。ウォーキングや体操など保健指導と合せ、身近で継続する

副市長 施設概要を示して日が浅い。情報を開示し前へ進めたい。



ジェネリック医薬品のPRパンフ



村尾晴子

ジェネリック医薬品を 推進すべきだ

問 安価で新薬と同じ効力のあるジェネリック医薬品を市は推進しているのか。

市民部長 国保連合会、医師会、薬剤師会では理解し協力されている。

問 高額医療費に對しての通知サービスをすべきだ。

市民部長 平成19年度に厚生労働省がジェネリック医薬品の安心使用促進アクションプログラムを策定により、医療費の抑制につながることを期待し取り組んでいる。

市民部長 8月診療分で171件送付済み、削減効果も期待できる。

問 DV予防啓発運動はされているのか。

問 DV予防啓発運動はされているのか。

問 ジェネリック医薬品について、医師会・薬剤師会の考え方はどうか。

総務部長 DVセミナーの開催、弁護士相談の開設、人権センター等で積極的に取り組んでいる。



深田 徳夫

健康づくりは行政の責任で

問い 健康づくりは行政の責務では。

副市長 国でも疾病予防等の環境整備が要請されている。

問い 平均寿命は長いが医療費が高騰している原因は何か。

副市長 がんと共に脳卒中が年間160件、食生活の改善と日頃の運動が肝心でそのための拠点を造る。

問い 地域限定との批判もあるが。

副市長 地域にある小規模な施設と連携し、健康づくりに活かし、要介護者を出す。

さず医療費抑制に繋げる。医療関係者等の指導を受け、健康な雲南市民を育む。

問い 雲南産材木の活用はいかに図るか。

産業振興部長 県の補助に上乘せを行い、合せて上限50万円。

問い 雲南病院の医師・看護師の確保は。特に看護師に魅力のある病院とは。

健康福祉部長 内科医一名、皮膚科医一名を招へいした。看護師には奨学金の貸与制度等を創設、愛される病院を目指す。



山崎 正幸

公共交通サービスのシステムの確立は

問い 市民バス事業は年々利用者数及び収益率が減少傾向にある。厳しい現状を直視し、公共交通の運行形態を見直し、より効率的・効果的で多様な公共サービスが図れるシステムの確立の考えは。

市長 デマンドバス

あるいはデマンドタクシーの活用、従来のエリアにとらわれない新しい路線の設定、地域内の無償移動サービスあるいは福祉タクシーの助成といったことが考えられるが、今後早急

に対策を講じていかなければならない。

問い 耕作放棄地の解消対策は。

産業振興部長 市の耕作放棄地対策協議会で取り組んでいるが、国の事業仕分け等の見直しに伴い有難い制度が廃止され、解消どころか拡大しているが、いろいろな事業を活用し放棄地の解消に努める。



福祉タクシー



福島 光浩

市民バスの無償・定額化で活動支援を

問い 少子化により子どものスポーツ活動、文化活動に地域内格差が生じている。移動手段の確保は家庭の大きな負担であり、今後さらに深刻化する。公共交通インフラの無償・定額化で空バス、回送便に利用価値を見出し、活動の支援策を図ることを求める。

政策企画部長 受益者負担の原則、収支を考えると難しい。

市長 公共交通インフラについては抜本的な検討が必要。子ども達の活動のため

の交通手段確保も、その一環として考えていく必要がある。

問い 交流センター化により地域での生涯学習のあり方、行政の関わり方が分かりにくくなった。今後の推進体制は。

教育長 地域における生涯学習のあり方について1月から説明会を行っていく。行政は地域づくり担当職員を窓口として、一体となり支援していく。



おめでとう
ございます

永年の地方自治への功労に
対し叙勲がありました。

○旭日双光章

元雲南市議会議員

佐藤嘉夫様



議員の辞職

山崎英志議員から

平成22年12月31日付けを
もって辞職の申し出があり、
議長が受理、許可しました。

ご意見お待ちしております

議会活動、議会広報、議会ホームページについて
ご意見や感想などお気づきの点をお寄せください。
(回答が必要な場合は連絡先を明記してください)

あて先 雲南市議会事務局
電話：(0854) 40-1004
FAX：(0854) 40-1009
MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp

議会傍聴を してみませんか？

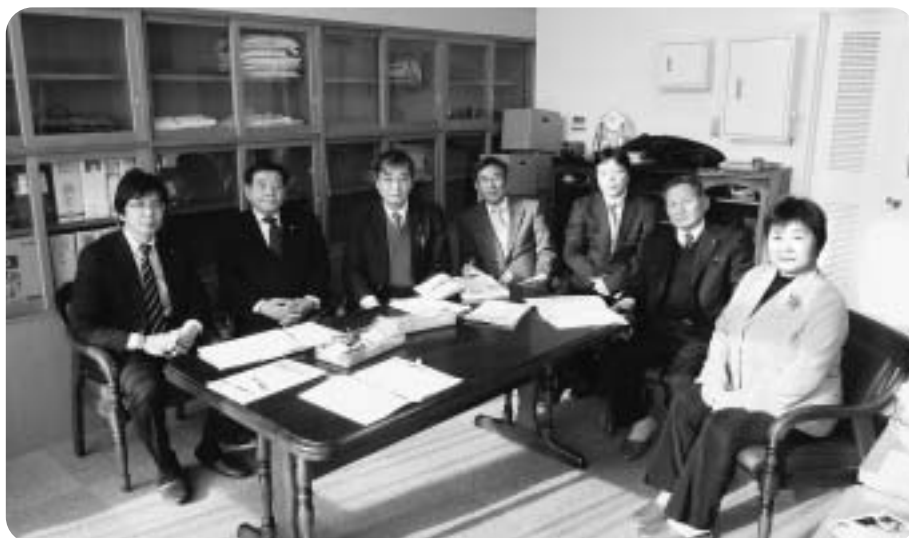
平成22年12月
定例会は、延べ
37名の傍聴があ
りました。
当日議場入
り所、氏名を
記入するだけ
で傍聴できま
す。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
例年、近くの鎮守の森に参り、
新年を迎えることとしています。
今年はこのほか大雪でした。
雪を踏みしめ登る石段の一段一
段に、新年への期待が募りま
した。
昨年は、政権交代の実を取る
べき年でしたが、国際関係、厳
しい経済環境、更に政治とカネ
問題など、得ることが少ない年
でしたから、なおさら新年に期
待するのは、市民の皆様も同じ
と思います。
雲南市も、厳しい財政事情の
中、発展の道筋を見つけなければ
なりません。
新しい編集委員により作成す
ることとなった本誌が、市政の
動きや論点をお
伝えし、市政の
発展や充実の基
となるよう、決
意を新たにす
ています。



(委員長)



議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西村雄一郎 |
| 副委員長 | 高橋雅彦 |
| 委員 | 佐藤隆司 |
| | 高橋正志 |
| | 藤江良治 |
| | 土江晴子 |
| | 周村強 |

雲南市議会のホームページを開設しています。(雲南市ホームページ → 雲南市議会ホームページ)